

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 別紙の「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について」を確認した上で、参加すること。
- (3) 入館前7日間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- (4) 入館前14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は、入館できない。
- (5) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。
提出できない場合は入館できない。
必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。
宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (6) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるよう準備する。COCOAを入れている場合は、電源をONにした上でBluetoothを有効にすること。
- (7) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。
招集所内でもマスクを着用し、会話を控えること。入場準備の際はマスクをはずしてもよい。
招集所ではずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (8) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。
レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、目からの飛沫感染も防ぐこと。
- (9) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2m以上）をとって行動すること。
- (10) レース終了後、ミックスゾーンの通過時、サブプールまでの移動中は、マスクを着用すること。
すぐにマスクを着用できない場合は、ミックスゾーンの手前で、呼吸を整えてから着用すること。
- (11) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。（レース直前のスタート台付近や、サブプールでの練習時）
- (12) 食事は、選手控え場所・観覧席のみで、人との距離（2m以上）を保ち単独で取ること。
- (13) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (14) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有の、ドリンクサーバー、アイシングバス
 - ・ メガホン
 - ・ チーム共有のストレッチマット、チューブ、バランスボール、トレーニングバイク等の運動用具（個人専用は持ち込み可）

新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について

日頃より本連盟の競技事業にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、まん延防止等重点措置が拡大して発出されるなど収束の見通しが立たない状況となっております。この中で、これまでお示しした本連盟発出の「大会の参加に当たって」の条件だけで、全国各地から選手を迎え、大会を開催することは、感染拡大防止の観点から難しいものと判断いたしました。

つきましては、これまでの参加条件に加え、大会参加の際には下記事項を必ず順守していただきますようお願いいたします。急なお願いとなりますが、安心安全な大会開催のためご理解いただきますようお願い申し上げます。

記

【参加者について】

- (1) 来場 72 時間以内（正当な理由がある場合は最長 1 週間以内）のウイルス検査（PCR、TMA、StAmp、抗原定量、抗原定性など）を行い、陰性を確認する（陰性証明書は不要、後日陽性となった場合に提示できるような記録は必要）。
- (2) 市販の抗原検査キットについて、原則として研究用ではなく医療用（体外診断用医薬品（薬事承認あり））のみを有効とする。
- (3) 来場初日から遡って 7 日以内に出場予定の競技者が濃厚接触者となった場合は、該当者の出場を禁止する。なお、濃厚接触者の定義については国もしくは地方自治体の方針に従う。
- (4) 来場初日から遡って 7 日以内に所属チーム内で感染者が出た際に、出場予定の競技者が感染者もしくは濃厚接触者に該当しない場合は、（原則）来場する 72 時間以内の検査で陰性確認をすることで競技会出場を可能とする。
- (5) 大会期間中に陽性者が判明した時点から所属チームすべての出場を禁止する方針であるが、その決定については競技実行委員会及び COVID19 オフィサーとの合議によって決定する。
- (6) 大会終了後 10 日以内に陽性者が発生した場合は、遅滞なく大会実行委員会に報告すること。

【移動について】

交通機関内での感染を防ぐため、移動車内での飲食を禁止、マスクの着用（目の防護をすることが望ましい）、各自で消毒用品を持ち歩くことを徹底する。

【宿泊について】

可能な限りシングルユースが望ましいが、複数人数で利用する場合には居室内でもマスクを着用し、複数人が同時にマスクを外すことがないように注意する。

【食事について】

基本的に会話をしない「黙食」とし、可能な限りチーム内で個々の食事の時間が重複しないようにする。やむなく複数が同じタイミングで摂食するときは同一方向を向いての食事が望ましく、向かい合っただけの食事は避けることを原則とする。食事前もマスクを着用とし、食後も速やかにマスクを着用する。新幹線など公共交通機関での飲食はできるだけ回避するスケジュールを組むことが望ましい。

第44回 全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会・監督者会議資料

大会規模・参加クラブ数 814 参加人数・男子 1,535 名・女子 1,346 名 計 2,881 名

1. 競技について

- (1) 本競技会は、2021 年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、予選・決勝ともに8レーンで行い、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 出場者8名以下の場合、予選は行わない。
- (4) 決勝は、全種目行う。
- (5) 決勝は、予選の結果、上位8名が出場できる。棄権者が出たときは、次点上位者より順次出場権を与える。補欠は2名とする。
- (6) 決勝の進出について、同記録で予定人数を超えた場合は、スイムオフを行う。ただし女子 800m 自由形・男子 1500m自由形および補欠が同記録で複数いる場合は抽選によって優先順位を決定する。
- (7) 招集は競技開始 10 分前から行う。本人確認のため、招集所には必ずADカードを持参すること。招集の際に水着の確認を行う。
- (8) 予選を棄権する場合は、所定の届出用紙に記入し、当日8:30 までにリゾリューションに届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は、棄権料 3,000 円(リレー5,000 円)を徴収する。決勝を棄権することは出来ない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後1時間以内に棄権料 3,000 円を添えて届け出ること。予選・決勝のいずれも無断で棄権した場合は、棄権料とは別に罰金 3,000 円を徴収する。
- (9) 競技は、女子はA面(電光掲示板側)、男子はB面(ダイビングプール側)で行う。下記の競技はA面とB面を入れ替えて行う。
招集は変更された招集所で行う。
・2日目 No.102 男子CS 1500m自由形 予選3・5組 (A面)
- (10) リレーオーダーは、予選は8:30 までに、決勝は該当予選競技ランキング発表後 30 分以内にリゾリューションに提出すること。
- (11) 予選競技のスタートは、オーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中で待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水する。ただしフリーリレー、メドレーリレー、背泳ぎおよび各種目の最終組については、速やかに自レーンより退水すること。
- (12) バックプレート・バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自行い、確実に固定されていることを確かめること。
- (13) 800m・1500m自由形ではB面は水中ラップカウンター、A面は周回板を使用する。周回版は、折り返し側の台中央に提示し、コールは行わない。
- (14) 公式計時SEIKOによる計時バックアップは、B面は水中バックアップシステム、A面は半自動装置を使用する。
- (15) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (16) 予選は組のみの紹介、決勝は選手紹介を行う。CSの決勝は、入場ゲートで紹介を行う。
- (17) 本大会は上訴審判団を設置する。

2. 表彰・得点・記録証について

- (1) 1位～3位にメダルならびに賞状、4位から8位に賞状を授与する。
- (2) 表彰は、12歳以下・13歳以上ともに3位まで行う。
- (3) 4位から8位までの賞状は、1階レストラン側入口受付の賞状受け渡し所で授与する。
- (4) 決勝種目終了後、女子・男子の順で表彰を行うので入賞者は所定の位置で待機すること。
- (5) 12歳以下の団体、優秀選手、優秀コーチの表彰は、2日目12歳以下の全競技終了後に行う。その他の表彰は最終日の閉会式で行う。
- (6) 優勝した選手は個人表彰の対象となるので、表彰日まで残ること。表彰式に残れない選手は、必ずリゾリューションに申し出ること。
- (7) 団体総合表彰は8位までを表彰する。
- (8) クラブ対抗の得点、CSにおける16歳以下の入賞者に対する加算点は要項による。
- (9) 記録証は、日本水泳連盟ホームページより記録証印刷システムを使用し、各クラブで作成すること。

3. 全体スケジュール

期 日	開門時間	予選開始	決勝開始	終了予定	閉門時間
1日目 3月27日(日)	7:15	9:00	16:30	17:40	18:30
2日目 3月28日(月)	7:15	9:00	15:00	18:00	18:30
3日目 3月29日(火)	7:15	9:00	15:50	18:00	18:30
4日目 3月30日(水)	7:15	9:00	14:30	16:00	16:30

* 27日(日) 開始式 16:15～

* 28日(月) 12歳以下表彰式 16:05～ * 800m/1500m予選 17:05～

* 30日(水) 閉会式 16:10～

4. プール使用について

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、練習時に各レーン内で待機する場合やスタート練習で並ぶ場合は距離を保つこと。
練習時の大きな声での指示は、控えること。
メインプール・サブプールとも練習中は、電子ホイッスルのみ使用可とする。
- (2) メインプール・サブプールの練習は、男女別年齢区分別に時間場所を指定しているので練習スケジュールを確認して使用すること。
前日および当日の競技前練習はメインプールまたはサブプール、競技出場後のダウンはダイビングプールを使用すること。
- (3) メインプール
 - ① 水温は28.0度、水深は2.0mに設定する。
 - ② 練習は競技開始15分前までとする。(予選競技前のA面は8:45まで、B面は8:30までとする)
 - ③ A面は8レーン、B面は1レーンをダッシュレーンとする。レーンの増設については、通告および電光表示板で連絡を行う。
 - ④ ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
 - ⑤ 公式スタート練習は行わない。
 - ⑥ キックボード・プルブイ・スノーケル以外の使用を禁止する。
- (4) サブプール・ダイビングプール
 - ① 水温は28.0度に設定する。サブプールの水深1.2m～1.4m。
 - ② サブプール1～3レーンを女子専用、5～7レーンを男子専用とする。
 - ③ 飛び込みは禁止する。サブプール4レーンにバックストロークレッジ付きスタート台を折り返し側に設置する。スタート練習は、コーチの管理下において行うこと。
 - ④ ダイビングプールは男女区分け用のロープは設置するが、各々にはレーンロープの設置ができないので、ダウンを行う際は他の選手と接触しないように注意すること。
 - ⑤ 競技中は、電子ホイッスルの使用を禁止する。
 - ⑥ キックボード・プルブイ・スノーケル以外の使用を禁止する。

5. 水泳場の使用について

- (1) ADカードを持っている選手・関係者以外は入館できない。
- (2) 入館前に手指消毒をして検温を受けること。入館時の検温で37.5度以上あった場合は、別の場所で再度検温をする。その結果、37.5度以上あった場合は入館できない。再入館する場合も手指消毒と検温を受けること。
- (3) 「健康チェック表」の提出について
 - ① 本連盟ホームページからダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。
「健康チェック表」は、公式練習日を含め毎日入館時に提出すること。
 - ② 公式練習日、大会期間中とも、再入館の際は入館口での検温を行うが、上記の用紙の提出は必要ない。
 - ③ 「健康チェック表」の検温・体調については、入館2日前、1日前、当日の3日分を記載すること。
 - ④ 回収した「健康チェック表」は返却しないので、記載内容を写真等で保存しておくこと。
- (3) ADカードは、館内にいるときは常時首から下げていること。また入場の際は必ずADカードを提示して係員の指示に従うこと。会場でのADカード発行(再発行を含む)は、1,000円を徴収する。
※ 選手・付添監督・コーチのADカードは、すべて自分で写真を添付(糊付け)すること。
ADカードに付いている紐は、交換しないこと。
- (4) 「競技会場においての商業ロゴマーク等についての規定」を厳守すること。
- (5) ダイビングプール側プールサイドにコーチ席を設ける。応援席に使用すること、選手の立ち入りは禁止する。
- (6) 更衣室のロッカーは使用できない。更衣のみに使用し控え場所にはしないこと。

6. 注意事項、その他

- (1) 公式掲示板(速報)は設置しない。
競技結果は、以下の公式サイトにて確認することができる。
SEIKO競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp/>)
日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://sp.j-swim.jp/>)
- (2) プログラムの訂正およびミスプリントは、当日8:30までに所定の用紙に記入の上、リゾリューションに届け出ること。(前日に提出可能な届出は受け付ける)
- (3) 選手、付添監督・コーチのADは撮影許可証となる。
- (4) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
- (5) 大会当日18歳未満の参加者は、18歳未満競技者親権者同意書(JADA)を必要とする。
参照JADAホームページ <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>
- (6) 盗難防止のため、貴重品の管理については各クラブの責任において行うこと。
- (7) 忘れ物は一般出入り口受付にて保管する。最終日競技終了後、廃棄処分とする。
- (8) 日本記録(高校・中学・学童を含む)の発生が見込める外国籍の選手、または日本国籍を得てから3年以内の選手は、監督者会議終了後リゾリューションまで申し出ること。
- (9) 予選・決勝ともに「YouTube」にてLIVE配信を行う。
※ 日本水泳連盟ホームページのバナーからダイレクトに接続することができる。